

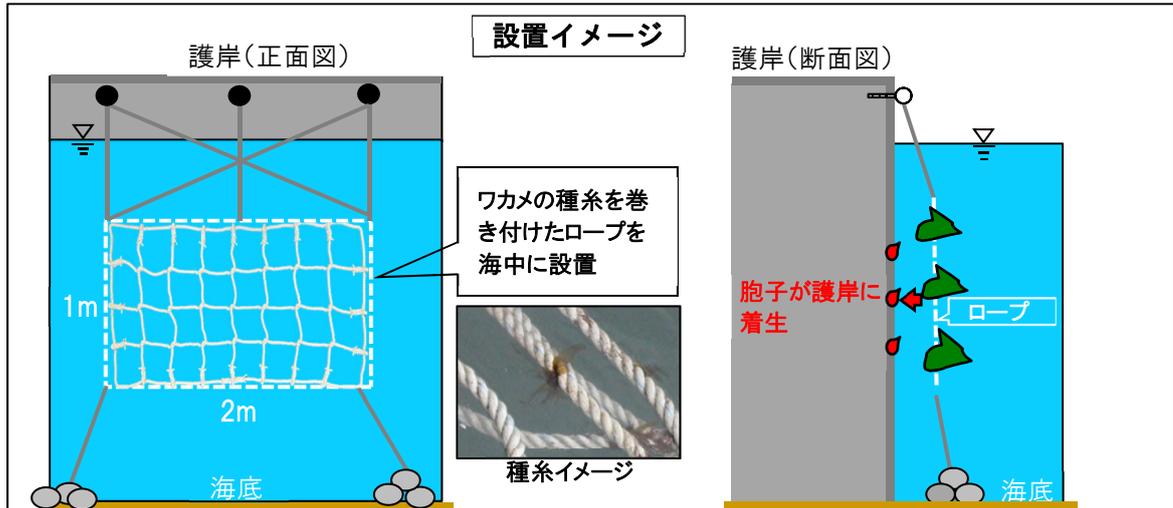
ブルーカーボンの拡大に向け、水際線の護岸で実験を開始します！ ～CO₂を吸収する海藻（ワカメ）を育てます！～

市街化が進んだ横浜市では、大規模な森林を新たに造成することは困難であるため、アマモなどの海草・海藻等がCO₂を吸収する「ブルーカーボン」の拡大に向け藻場・浅場の形成を進めています。

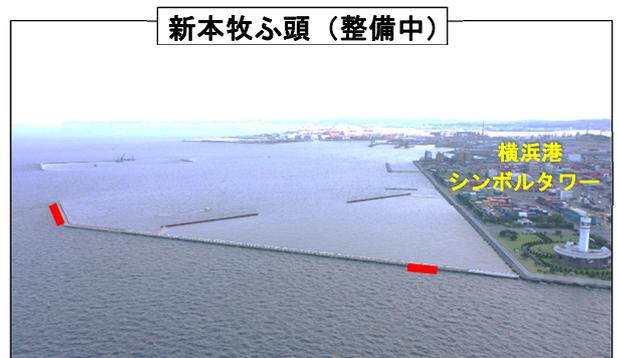
このたび、全長約140kmに渡る水際線を有する横浜港の特長を生かすため、新たな試みとして、直立護岸を活用し海藻（ワカメ）を繁茂させる実証実験を開始しますので、お知らせします。

1 実証実験の概要

- 護岸前面にワカメの種糸を巻き付けたロープを設置し、胞子の着生を促します。
- 成長したワカメを採取し、重量やリン・窒素の含有量等を計測し、CO₂吸収量や水質浄化等の効果を検証します。



2 実験箇所（4箇所）



3 実験期間

令和5年12月19日から、護岸への胞子の着生が確認できる約1年間を想定しています。

4 取材について

現地を取材される場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

港湾局新本牧事業推進課長 石井 雅樹 Tel 045-671-7373